みやこのじょう社協
miyakonojo shakyo
広報　第62号
平成28年10月15日発行

ごー! ごー!! ちいき

視覚障がい者向けに音声版の「ごー!ごー!! ちいき!!」を発行しています。

じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金

70th

おかげさまで70周年

ポスターで見る赤い羽根共同募金の歴史

社会福祉法人都城市社会福祉協議会　〒885-0077 宮崎県都城市松元町4街区17号
Tel 0986（25）2123　Fax 0986（25）2103　E-mail info@m-syakyo.or.jp　URL http://www.m-syakyo.or.jp

この広報紙は赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しております。

赤い羽根共同募金運動が始まりました！

今年で 70 周年を迎える共同募金運動では、「赤い羽根は小さいことをしています」をキャッチフレーズに展開していきます。大きなことは目立つけど、小さなことは見えにくい、「困った時はおたがいさま」の精神のもと、赤い羽根はこれからも、テレビや新聞等で取り上げられない小さなことにも心を配って活動していきます。

～今年も皆さまのご支援・ご協力よろしくお願いいたします。～

赤い羽根共同募金運動70周年の歩み

1947年 共同募金運動開始（昭和22年）

昭和30年代

民間の社会福祉施設の建物の増改築や、生活に困っている人たちの支援に役立てられていました。一方で、この頃から市町村社協の組織化が進むに伴い、地域全体の福祉を高める活動への支援が徐々に増えてきました。

昭和40年代

子どもの遊び場整備に力を入れ、昭和 42（1967）年から 12 年間で、全国 2 万か所に 11 億円を配分しました。また、手話研修が盛んになり、共同募金はさまざまなボランティア活動の活性化にも役立てられました。

昭和50年代

小規模作業所が急速に数を増やし、共同募金から全国的に特別配分が行われました。また、働く女性の増加により、保育所も急激に増え、保育所 3,571 か所へ 4.7 億円を配分しました。昭和 50 年に福岡県春日市で一人暮らし高齢者のための給食サービスがスタート。共同募金助成により全国に広がりました。

昭和60年代

障がい者スポーツにも共同募金の支援が行われるようになりました。障がい者の社会参加のための配分メニューが作られ、全国で特別配分が行われました。また、デイサービスセンターなど地域の高齢者が参加するさまざまな活動への支援も行われて行きました。

平成初期

平成 7 年の阪神・淡路大震災も契機となり、ボランティア団体や非営利団体の支援に向けた配分が行われるようになりました。

2011年

都城市共同募金委員会へ名称変更（旧：宮崎県共同募金会都城市支会）

2013 年～
学校や各種団体に対して、共同募金の使いみち等の説明やワークショップを行う出前講座を開催。

2014 年～
赤い羽根ジャンパーを作成し、運動期間中に職員や街頭募金活動等で着用。啓発活動に役立てています。

共同募金70周年 2016年

2015 年
都城市 PR 部長ぼんちくんとのコラボで寄付金付きピンバッジを作成販売、

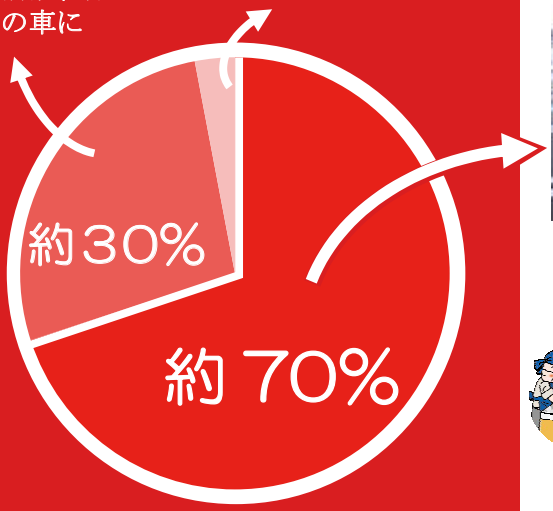
共同募金は、これからも、地域の支え合いを基本に、社会の課題を解決する動きを全国で作りだしていきます！

この広報紙は赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しております。

赤い羽根共同募金の使いみち

都城市を含む宮崎県のために
福祉施設やNPO団体等の活動、赤い羽根の車に

被災地のために
災害準備金として積み立て災害発生時に役立てられます。

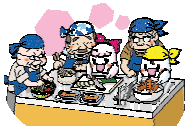


都城市のまちを良くする活動に役立てられています。

地域のサロン活動や見守り、世代間交流事業
学校の福祉教育に

地域の子育てサロンに

地域の世代間交流に



学校での福祉教育活動に

赤い羽根共同募金助成金説明会のお知らせ

都城市共同募金委員会では、来年度（平成29年4月～平成30年3月）行う地域福祉の推進事業で、赤い羽根共同募金の助成を希望する団体を対象に説明会を行います。

助成を希望される方は、必ず説明会に出席してください。**今年度の説明会では、共同募金講座も受講していただきます。**やむを得ず出席できない場合は、必ず事前にご連絡ください。
（連絡がない場合は、要望を受け付けられない可能性があります。）

■日　　時：平成２８年１２月２日（金）１３：３０～１５：００
■場　　所：都城市総合福祉会館　２階　会議室
■対象事業：地域で行う福祉事業（高齢者、障がい児者、児童・青少年、地域住民等を対象にした事業）
※団体の運営費や事業実施に関係のない助成対象外です。

街頭募金協力団体の募集

赤い羽根共同募金運動期間中に、市内の店舗や各イベント等において街頭募金活動に取り組んでいただけるボランティア団体・各種団体を募集します。

■募集期間：１０月１日～１２月末日（共同募金運動期間中）
■その他：募金活動に必要な資材の準備、実施日や募金場所の調整等は、事務局にて準備、調整いたしますのでお気軽にお問合せ下さい。

《問合せ先》　都城市共同募金委員会　（都城市社会福祉協議会　総務課）　TEL　（25）2123

この広報紙は赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しております。

報　告　みやざきボランティア体験月間2016 県下一斉ボランティアの日

宮崎県市町村ボランティア連絡協議会では、住民の皆さんがボランティア活動へ参加するきっかけとなるように8月第４日曜日を「県下一斉ボランティアの日」として制定しました。 本市においても、それぞれの地区で、多くの市民の皆さんに参加いただき、ボランティア活動が実施されました。

都城ボランティア協会

ボランティア 120 名の参加で、福祉センターや公共施設周辺の道路の清掃活動を行いました。暑い中、たくさんのご参加ありがとうございました。（8/21 開催）

山之口地区ボランティア連絡協議会

ボランティア 31 名の参加で地区の神社境内やお寺周辺の道路の清掃活動を行いました。お寺の住職より「命」について説法も聴き、清々しい気持ちでボランティアを終えることができました。（8/28 開催）

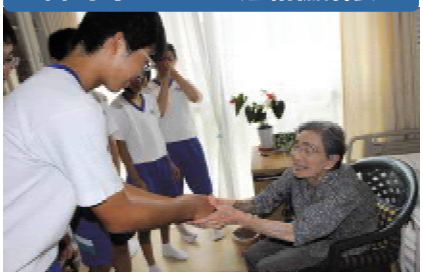
高城地区ボランティア連絡協議会

地域住民やボランティア連協の会員 145 名の参加で、それぞれの自治公民館内の道路や広場、自治公民館周辺の清掃活動を行いました。（8/7 開催）

山田町ボランティア連絡協議会

ボランティア 60 名の参加で町内の道路のゴミ拾いをした後、市の環境業務課職員にゴミの分別を習いました。
その後、市の環境政策課職員の指導で環境学習会を行いました。（8/5 開催）

高崎町ボランティア連絡協議会



中学生 101 名、ボランティア連協の会員 19 名計 120 名の参加で、運動公園周辺と４福祉施設の清掃活動を行いました。施設では「きれいになった。」と利用者さんから喜ばれました。（8/5 開催）

宮崎県ボランティアマスコットキャラクター“ボラみん”

都城市ボランティア・福祉共育おうえんセンターは 市民活動・ボランティア活動をおうえんします！

都城市ボランティア・福祉共育おうえんセンターでは、NPO や市民活動団体に対して、以下の支援を行っています。

- ●NPO・市民活動団体運営に関する講座・研修会を開催します。
- ●ボランティア情報や助成金情報など NPO・市民活動団体向けの情報誌を発行します。
- ●NPO・市民活動が、会議・事務作業などを行える場を提供します。
- ●ホームページやブログに関する情報提供や作成支援を行います。

※その他、ボランティア活動に関する相談等ありましたら、お気軽に問合せください。

都城市ボランティア・福祉共育おうえんセンター
TEL（25）7318　Fax　（25）8894

■開設時間　月曜日～金曜日8:30～17:15
【毎月第3土曜日も開設(8:30～17:15)しています。】

この広報紙は赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しております。

報　告　“学び”を“実践”へ活かすために！~各種研修報告~

◆山下道場／都城夏乃陣

8 月 19 日（金）淑徳大学総合福祉学部社会福祉学科山下興一郎准教授をお招きし、様々な理由で生活困窮状態に陥った方や制度の狭間で課題を抱えている方に対する支援の在り方について事例検討会（山下道場／都城夏乃陣）を開催しました。

↑山下興一郎氏（淑徳大学准教授）

今回で 4 回目となる事例検討会では、生活自立相談センターが関わる相談者への関わりのなかで福祉専門職として必要な権利擁護の視点と自立に向けて相談者自身が持つストレングス（当事者の力）に着目した支援の在り方について検討を行いました。

↑　事例検討会の様子

生活の実態や社会背景より様々な課題が見え隠れするなか、単に経済的な課題の解決にとどまらず、人との繋がりや地域社会との関係をどのように再構築すべきか、個別支援と地域支援の一体的な支援について、参加者一同、深く学ぶ機会となりました。

◆学校と地域における福祉教育推進研修会

8 月 27 日（土）都城市社会福祉普及推進校連絡会で、市内の小中高校の先生方を対象に研修会を行いました。「福祉教育・ボランティア学習による効果的な教育をめざして」と題し、大阪教育大学教育学部教養学科新崎国広准教授に、地域と学校の連携、チームとしての学校のあり方について、“共に生きる力の育成”をめざして、実際にグループワークや実技も交え、明日からの実践に生かせる学びの時間となりました。

↑新崎国広氏（大阪教育大学准教授）

↑グループワークを通して、他校の取り組みや、地域との連携の重要性について意見交換が行われました。

◆「地域福祉研修会」　~地域福祉を進める専門職への覚醒をめざして~

8 月 30 日（火）、宮崎県市町村社協連絡協議会都城・北諸ブロック主催で行いました。当日は、県内の 10 市町・宮崎県社協・同志社大学生・九州保健福祉大学生など 55 名が参加し行われました。まず、日本地域福祉学会会長・同志社大学社会学部上野谷加代子教授から『地域福祉の今日的課題と、社協に求められる役割』と題した基調講演が行われ、次に同氏と九州保健福祉大学スポーツ健康福祉学会川﨑順子准教授による『今こそ、社協職員に期待すること』と題する辛口対談が行われました。「社協職員のプライドは何ですか？」「社協はぬるま湯に浸かっていませんか？」「社協にできないことはない、ちゃんとやってるの？」といった厳しいご指摘のあと、参加者全員で協議を深め、地域福祉に責任を持つ社協の役割、社協職員としての課題を確認しました。

左）上野谷加代子氏（同志社大学教授）
右）川﨑順子氏（九州保健福祉大学准教授）

↑県内の社協職員に大学生も交じって、今後の社協について議論が行われました。

この広報紙は赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しております。

平成28年度 都城市社会福祉功労者等表彰式 赤い羽根共同募金出発式 を合同で開催しました！

都城市社会福祉功労者等表彰式（社会福祉に功労のあった方々を表彰）

10 月 1 日（土）都城市ウエルネス交流プラザムジカホールにおいて、「平成 28 年度都城市社会福祉功労者等表彰式・赤い羽根共同募金出発式」が開催されました。今回は初めての試みとして、表彰式と出発式を合同で開催しました。

表彰式では永年にわたりボランティア活動や社会福祉に功労のあった個人・団体、また共同募金活動に功績のあった団体にそれぞれ表彰状、感謝状の贈呈がありました。

受賞された方々のこれまでのご功績に対し、深く感謝と敬意を表します。

↑ 受賞者代表登壇（共同募金委員会会長感謝 野口 富弘様）

都城市社会福祉協議会会長・都城市共同募金委員会会長表彰・感謝受賞者

都城市社会福祉協議会会長表彰・感謝

（敬称省略 順不同）

◎ **表彰（１０名１団体）**

丸田 とも子　森 ミチ子　上鶴 久美子　吉田 美代子　又木 祥子
村田 三千代　星原 千恵子　竹下 ゆかり　狭間 喜代子　黒木 邦代
尻枝自治公民館ボランティア

◎ **感謝（１名１団体）**

今元 清子　㈲ぎょうざの丸岡

都城市共同募金委員会会長表彰・感謝

◎ **表彰（７団体）**

並木保育園　祝吉小学校　姫城地区高齢者クラブ　あおぞら婦人学級
安久保育園　都城西高等学校　小松原地区高齢者クラブ

◎ **感謝（１名１団体）**

野口 富弘　霧島ホールディングス株式会社　～受賞者の皆さま おめでとうございます！～

赤い羽根共同募金出発式

出発式では、共同募金の助成団体をはじめ、自治公民館長、民生委員、ボランティア団体など約 200 名が参加されました。

表彰式前にオープニングアトラクションとして、下長飯保育園園児による和太鼓の披露と、すずらん保育園園児作成のパネル（右写真）が紹介され、会場を大いに盛り上げてくれました。また、都城市 PR 部長のぼんちくんにも参加いただき、最後は、参加者全員でシュプレヒコールを行いました。今年も赤い羽根共同募金に皆さまの御協力よろしくお願いします。

←すずらん保育園園児の皆さんが作成したパネル

↑下長飯保育園園児による和太鼓の演奏

↑ご協力いただいた聖ドミニコ学園高等学校インターアクトクラブの皆さん

↑都城の福祉のために募金活動頑張るぞー！！

この広報紙は赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しております。

ご存知ですか？地域の身近な相談相手「民生委員・児童委員」

■民生委員制度は
平成 29 年に創設 100 周年を迎える「歴史と実績を有する制度」です。

民生委員制度は大正 6 年に岡山県で発足した「済世顧問制度」に始まります。翌大正 7 年に大阪府で「方面委員制度」が発足し、昭和 3 年に全国に普及しました。発足当初は生活困窮者に対する援助活動を中心に活動を展開していましたが、昭和 21 年の民生委員令公布により、名称も方面委員から民生委員に改まり救貧活動だけでなく、地域の福祉増進のために幅広い活動を行うこととなりました。

■民生委員の任期は 3 年（再任可）で、今年は改選の年となります。
平成 28 年 12 月 1 日から新たに民生委員が任命されます。
※民生委員の氏名等につきましては、都城市広報（平成 29 年 1 月）に掲載予定です。）

■民生委員・児童委員は
誰もが安心して生活できる地域づくりのために日々活動しています。

民生委員・児童委員とは
地域住民の立場にたって
地域の福祉を担うボランティアです。

民生委員は、民生委員法に基づき、厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員です。また、民生委員は児童福祉法に定める児童委員を兼ねています。給与の支給は無くボランティアとして活動しており、任期は 3 年（再任可）です。

民生委員・児童委員の
3つの基本姿勢

①社会奉仕の精神
社会奉仕の精神をもって、社会福祉の増進に努めます。
②基本的人権の尊重
相談内容や個人の秘密を守り、個人の人格を尊重します。
③政治的中立
職務上の地位を政党または政治的目的のために利用しません。

民生委員・児童委員は
地域を見守り、
地域住民の身近な相談相手、専門機関へのつなぎ役です。

担当の区域において高齢者や障がいのある方の安否確認や見守り、子どもたちへの声かけなどを行っています。医療や介護の悩み、妊娠や子育ての不安、失業や経済的困窮による生活上の心配ごとなど、さまざまな相談に応じます。相談内容に応じて、必要な支援が受けられるよう、地域の専門機関とのつなぎ役になります。

主任児童委員とは
子どもや子育てに関する支援を
専門に担当する
民生委員・児童委員です。

主任児童委員は、子育てを社会全体で支える「健やかに子どもを産み育てる環境づくり」を進めるために、平成 6 年 1 月に制度化された、子どもや子育てに関する支援を専門に担当する民生委員・児童委員です。主任児童委員は、担当区域をもたず、区域担当の民生委員・児童委員と連携しながら子育ての支援や児童健全育成活動などに取組んでいます。

●民生委員に関するお問い合わせは　都城市福祉課 TEL（23）2980　社協地域福祉課 TEL（25）2123

お便り紹介！

前号（61 号 8/15 発行）では、熊本地震復興支援ボランティア活動の内容が紹介されていました。“一緒にきばっど熊本！”を合言葉に 73 名の方々が暑さの厳しい中、それぞれの被災地での活動の様子が報告されていました。

いつ、どこで災害が起こるかわからない昨今、いま一度、防災について深く考えてみたいと思います。ボランティアの方々、本当にごくろうさまでした。（高城町Ｓさん）

～お便りありがとうございます。～

お便り募集！

「ごー!ごー!!ちいき」へのご意見、ご感想等を募集します。下記まで、住所・氏名・連絡先を明記してお送りください。お便りをいただいた方には記念品（図書券）を差し上げます。

〒885-0077 都城市松元町 4 街区 17 号　都城市社会福祉協議会「ごー!ごー!!ちいき」係
FAX 25－2103　　Email　info@m-syakyo.or.jp　　URL　http://www.m-syakyo.or.jp

この広報紙は赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しております。

みなさまの善意ありがとうございます

社会福祉法人都城市社会福祉協議会では、みなさまからいただいた善意寄付や忌明寄付を福祉向上のために使わせていただいております。掲載事項につきましては、ご本人の承諾を得ております。
なお、空欄（寄付内容等）につきましては、寄付者の希望により掲載しておりません。

○ 忌明寄付【８月～９月受け入れ分】

※公職の候補者からの寄付はお断りしています。

敬称略 単位：円

■ 本所管内

住所	寄付者	故人	寄付内容
一万城町	中野　英子	由理	20,000
都原町	川関　和俊	正子	100,000
都島町	吉川　辰男	宗二	30,000
志比田町	寺岡　由雄	ヒサ子	30,000
上長飯町	前田千恵子	定美	20,000
乙房町	高橋　定	キクエ	20,000
都島町	大堀　義則	フミ子	10,000
中原町	瀬戸山正希	ミヤ子	30,000
若葉町	川野　悟	岸良カズ子	100,000
若葉町	田中　光雄	司	20,000
金田町	園田　三郎	トミ	30,000
年見町	村尾　眞弓	山元イツ子	30,000
丸谷町	兒玉美佐子	秀明	30,000
梅北町	小野田房見	績	20,000
一万城町	中野　真理	英子	20,000
上水流町	瀬戸山京子	重吉　都	30,000
郡元１丁目	後田　正夫	ユキ子	30,000
甲斐元町	中薗　益枝	勇作	50,000
都北町	黒木　堯	吉永ミヨ	30,000
蓑原町	濵砂袈裟光	川畑節子	20,000
関之尾町	前畑ヨシ子	ナミ	20,000
鷹尾１丁目	後久千鶴子	杉村ツル	30,000
上水流町	田代ミサエ	武美	100,000
都島町	坂元　悦子	俊徳	30,000
梅北町	原口　和美	ミリ子	30,000
野々美谷町	杉村　義信	浩幸	30,000
丸谷町	中原　義雄	ヒメ	20,000
庄内町	山田　増男	浩司	30,000
岩満町	内村　恭市	フミ	30,000
乙房町	永野千代子	滿哉	50,000
久保原町	吉田ヒデ子	春利	30,000
庄内町	釘村美千也	郁美	30,000
夏尾町	吉原　ミカ	愿	30,000
上長飯町	山元　清久	順子	50,000
安久町	岩佐紀美子	文子	20,000
安久町	谷口　優子	忠弘	20,000
夏尾町	里　フヂ子	一夫	50,000
夏尾町	二見　辰夫	エチ子	30,000
梅北町	有川カズエ	義光	20,000
菖蒲原町	森岡　好江	邦典	50,000
菓子野町	宮島　幹雄	テル	20,000
南横市町	吉永　尊徳	光良	30,000
乙房町	児島　初子	江藤　瑞	30,000
久保原町	谷口　英明	ミツ	10,000
都島町	岡元　至	ハルノ	30,000

■ 山之口支所管内

住所	寄付者	故人	寄付内容
下平	甲斐　保博	タミ	20,000
前方４	諏訪　博之	明子	30,000
下平	岩見　博子	小牧繁盛	30,000
街区２	矢野　春代	政行	50,000
街区	金田シヅエ	秀夫	20,000
前方	房野　利明	ミツエ	30,000
正近	山下　一美	道子	30,000
向原東１	片平ツルノ	眞男	50,000
永野	永野　一郎	ハツエ	30,000
向原東	岩佐　妙子	福永達夫	50,000

■ 高城支所管内

住所	寄付者	故人	寄付内容
穂満坊	楠元スミ子	速次	20,000
石山	堂込セツ子	孝	30,000
穂満坊	新地　貞子	文雄	50,000
高城	後藤　侃司	惠美子	30,000
大井手	矢方　純男	トシエ	20,000
有水	上村　季子	茂子	100,000
桜木	小園テル子	則善	30,000

■ 山田支所管内

住所	寄付者	故人	寄付内容
谷頭９	新山ミヤ子	滿男	30,000
大古川	日高　頼正	サチ	30,000
北田	大神　省三	サダ	30,000
下是位	別府シマ子	哲郎	30,000
谷頭５	椎屋　貴幸	はる子	30,000
谷頭５	髙原　義文	ユミ	30,000

■ 高崎支所管内

住所	寄付者	故人	寄付内容
前田	紙屋　安政	ナツエ	50,000
前田	中薗　悟	ヨシ子	30,000
大牟田	瀧山　初子	通雄	20,000
縄瀬	田口　涼一	信隆	
縄瀬	鯵坂　金助	マツエ	20,000
大牟田	赤﨑　幸子	兼道	30,000
大牟田	下村　蓉子	保盛	30,000
江平	村山　好市	百合子	30,000
大牟田	花原　緑	トミヨ	20,000
縄瀬	平山　和博	妙子	30,000
縄瀬	冨田　テル	勝正	30,000
江平	今村賢一郎	郁子	30,000
大牟田	髙坂キクエ	清久	10,000
大牟田	加藤　敏子	紘一	30,000
笛水	竹元　輝治	ミツ子	20,000
大牟田	谷口　俊一	キミ	50,000
江平	池田　征子	勇	30,000

○ 善意寄付【８月～９月受け入れ分】

※公職の候補者からの寄付はお断りしています。

敬称略 単位：円

■ 本所管内

住所	寄付者	寄付内容
鷹尾３丁目	有田　重紀	20,043
前田町	護国寺	(８月分)お米 43kg・(９月分)お米 28kg
菖蒲原町	福留　きよ子(８月分)	3,000　(９月分) 3,000
高木町	片平　勇	15,000
都島町	ナリス化粧品　浜田　トキエ	30,000
美川町	竹山　重雄	5,000
高木町	匿名	20,000
志比田町	（有）ぎょうざの丸岡	470,484
鷹尾３丁目	株式会社スーパー大浦	カップ麺 20 ケース

■ 高崎支所管内

住所	寄付者	寄付内容
高崎町	内山みゆきふれあいまつり	158,251

発行／社会福祉法人都城市社会福祉協議会　本所℡25-2123　山之口支所℡57-4577　高城支所℡58-3279　山田支所℡64-2200　高崎支所℡62-1216

この広報紙は赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しております。